

令和4年10月13日

## 岐阜県スマート農業推進計画の見直し概要

### 1 見直しの趣旨

計画策定から3ケ年が経過し、新たな技術の導入が進んでいること、及び県の関連計画との施策の整合性を図る。

また、生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」の実現に向け、スマート農業技術の新たな活用方法が求められている。

#### <県関連計画>

- ・「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」(R4. 3策定)
- ・『清流の国ぎふ』創生総合戦略の見直し(R5. 3策定予定)
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」の見直し(R5. 3策定予定)

### 2 見直しに向けたこれまでの経緯

時 期	内 容
R3. 5	「みどりの食料システム戦略」策定(国)
R4. 3	「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」策定
R4. 4 ~ R4. 5	生産者団体、関係団体、市町村の職員などから意見等を聴取
R4. 8 ~ R4. 9	農政部関係課への意見照会

### 3 主な見直し概要

別紙 1 参照

### 4 今後のスケジュール

時 期	内 容
R4. 10	スマート農業推進協議会へ見直し(案)に対する意見照会
R4. 12~R5. 1	パブリックコメントの実施
R5. 2	スマート農業推進協議会へ協議
R5. 3	スマート農業推進計画の策定、公表

## 3 主な見直し案の概要

項 目 (現計画)	見直し案
<b>1. 計画の概要</b>	
(1) 趣旨  (2) 性格・位置付け (3) 計画期間 (2019年度から2023年度の5ケ年)	(1) 「現計画を策定して3年が経過し、各種施策によりスマート農業技術の導入等は順調に進んでいるが、新たな技術開発が進んでいること、農業分野におけるDXや、みどりの食料システム戦略を推進するため、スマート農業に係る新たな取組みが求められており、これらを反映した見直しが必要」の旨を記載する。 (2) 『清流の国ぎふ』創生総合戦略と「ぎふ農業・農村基本計画」に加え、「岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画」との位置づけを記載する。 (3) <b>2023年度から2026年度の4ケ年</b>
<b>2. 本県農業の現状</b>	
農業就業人口等の推移 経営耕地面積の推移 農地の集積率 アンケート結果 (H31.2 県農政部調査)	・本県農業の現状を示す、農業経営体数等の推移、経営耕地面積の推移、農地集積率の統計数値を最新情報に更新する。(出典：2020 農林業センサス、岐阜県農政部調べ) ※2020 農林業センサスから「農業就業人口」の調査項目がなくなったため、農業経営体数とした。
<b>3. 目指す将来像</b>	
1 少ない人材で経営規模拡大の実現 2 経験年数にかかわらず誰もが取り組みやすい農業の実現 3 単収の向上、高品質生産及び付加価値向上の実現  <b>【5年後の目標 (現計画)】</b> ・スマート農業技術導入経営体数 ・スマート農業に取り組む産地数 ・スマート農業技術研修及びセミナー等受講者数 ・スマート農業推進拠点における展示会・実演会等の開催数 ・新たな栽培支援技術の開発数	・1～3の柱は変更なし ・将来像について、指導現場での「スマートグラス等の活用」や、VR技術などによる「作業ノウハウなど「匠の技」をデータ化」、農業におけるビッグデータを有益なデータとして活用する「農業DXプラットフォーム」の活用」などを追記。  <b>【令和8年度目標】</b> データ活用に関する目標項目と、令和8年度の目標値を設定 ・スマート農業技術導入経営体数 ・スマート農業に取り組む産地数 ・ <b>新データを活用した栽培体系の構築品目数</b> ・ <b>新農業DX指導者育成数</b> ・新たな栽培支援技術の開発数
<b>4. 重点施策</b>	
(1) 情報集約・発信 (2) 技術の実証 (3) 技術研修 (4) 技術の普及 (5) 新技術の研究	・5つの施策の柱に加え、新たな柱に「農業DXプラットフォームの構築」を加え、データ活用型農業推進の基盤として位置づけ (1) 情報集約・発信 (2) 技術の実証 (3) 技術研修 (4) 技術の普及 (5) 新技術の研究 (6) <b>新農業DXプラットフォームの構築</b> ・各施策内容については関係各課へ意見照会を行い、県関係計画等との整合性及び、「みどりの食料システム戦略」、「生産者団体、関係団体、市町村等の意見」を踏まえ修正 <b>別紙1-1</b> 参照

<b>5. 営農類型毎のスマート農業技術</b>											
	・技術の内容の記載方法を変更（別紙1-2参照）し、技術概要と導入効果の内容を修正										
<b>6. スマート農業技術導入モデル</b>											
	・技術毎に導入目安となる経営規模や、効果、価格帯等を追記（令和3年3月の協議会で協議済み）										
<b>7. 活用事例</b>	<b>7. 取組事例</b>										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・項目名を取組事例に変更</li> <li>・現計画の事例（7事例（水稲5事例、トマト1事例、畜産1事例））について、経営概要、導入技術等を現況に修正</li> <li>・導入の参考となる8事例（水稲5事例、ミニトマト1事例、果樹1事例、畜産1事例）を新たに追加記載</li> <li>・令和3年までに終了したスマート農業モデル実証事業（4事業）の導入技術、成果概要等について追加記載</li> </ul>										
<b>8. 推進体制</b>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者、農業関係団体、ITベンダー、大学、県等を構成員とする「岐阜県スマート農業推進協議会」を設置し、関係者が一体となって実行施策の検討や目標の進捗状況の評価、検証を行う。</li> </ul> （修正箇所） 農機メーカー → ITベンダー 「スマート農業推進協議会」（仮） → 「スマート農業推進協議会」										
<b>9. 役割分担</b>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点施策に「⑥農業DXプラットフォームの構築」を追加</li> <li>・各機関の取り組みについて、現況を踏まえ修正</li> </ul> 別紙1-3参照										
<b>◆ 策定経過</b>											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画見直しの経過を追加</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年10月13日</td> <td>第1回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議</td> </tr> <tr> <td>令和4年12月〇日</td> <td>パブリックコメントの実施（～令和5年1月〇日）</td> </tr> <tr> <td>令和5年2月〇日</td> <td>第2回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議</td> </tr> <tr> <td>令和5年3月</td> <td>岐阜県スマート農業推進計画の見直し</td> </tr> </tbody> </table>	年月日	内容	令和4年10月13日	第1回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議	令和4年12月〇日	パブリックコメントの実施（～令和5年1月〇日）	令和5年2月〇日	第2回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議	令和5年3月	岐阜県スマート農業推進計画の見直し
年月日	内容										
令和4年10月13日	第1回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議										
令和4年12月〇日	パブリックコメントの実施（～令和5年1月〇日）										
令和5年2月〇日	第2回岐阜県スマート農業推進協議会 ・「岐阜県スマート農業推進計画」（見直し案）協議										
令和5年3月	岐阜県スマート農業推進計画の見直し										
<b>◆ スマート農業推進協議会</b>											
	・スマート農業推進協議会委員名簿（令和5年3月時点）を記載										
<b>◆ 用語解説</b>											
	新たに記載された用語を追加										

## 4. 重点施策の見直しについて

## 岐阜県デジタル・トランスフォーメーション推進計画

## 12 農畜産業のDX

## (1) スマート農業・データ活用型農業の加速化

## ① 収量・収益性の向上に向けた農業DXプラットフォームの構築

- 農業DXプラットフォームの構築
- 熟練農業者の技術継承モデル実証
- ビッグデータを活用できる農業DX指導者の育成

## ② 生育・環境データ等に基づく管理・診断技術による生産管理の高度化

- 農業DXモデル農場の設置
- センシング技術活用モデルの実証

## ③ スマート農業技術の導入促進

- スマート農業機械のシェアリースの支援
- 畜舎のDXの推進

## ④ 中山間地域等における通信インフラの強化

- 共同基地局の整備支援

## ⑤ DXを活用した農地利用側隠

## (2) 農業DXに対応できる担い手の育成・確保の強化

## (3)～(7) DXによる生産体制強化、生産・流通システム構築 など

## みどりの食料システム戦略

SDGs や環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、食料・農林水産業においてもこれらに的確に対応し、持続可能な食料システムを構築することが急務となっており、国は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。  
(農林水産省 HP 一部抜粋)

## 生産者団体、関係団体、市町村等から聴取した主な意見

- ・スマート農業の更なる普及を推進、スマート農機を試用する機会の提供
- ・導入コスト削減や、もっと農家が使える技術、価格にする必要あり
- ・機器を使いこなせる指導ができる人材の育成
- ・蓄積したデータ等を栽培改善等に役立てるデータ活用研修の充実
- ・熟練農業者の「匠の技」のデータ化に期待

## 重点施策の主な見直し事項

## (1) 情報集約・発信

- ・ スマート農業推進拠点（スマート農業推進センター、農業技術センター、中山間農業研究所（本所、中津川支所））において、スマート農業機械の貸出等により、農業者が実際に見て、使って、便利さを実感できる機会を提供する。
- ・ スマート農業技術に対する理解を促進するため、YouTube チャンネル「岐阜県スマート農業推進センターWebTV」を活用した情報発信を行う。

## (2) 技術の実証

- ・ スマート農業技術などの省力化技術に、環境へ配慮した栽培技術を加えたグリーンな栽培体系への転換を推進する。
- ・ 栽培環境データ、生育データ等を見える化・分析する「農業DXデータ活用実践モデル農場」を県主要品目において設置し、最適な栽培体系の構築等を実施する。
- ・ センシング技術の活用により、生育状況、病害診断を行い、それに基づく適切な栽培管理を行う「センシング技術活用モデル農場」を設置し、収量、品質の向上を目指す取組みを実施する。
- ・ 繁殖管理及び疾病管理システム等の技術を統合した畜産版DX農場を整備し、技術の普及を推進する。

## (3) 技術研修

- ・ スマート農業技術から得られるデータや農業に関する様々なデータを分析し、農業者に対し経営改善、栽培改善等が提案でき、その実践を支援できる「農業DX指導者」を育成するための研修を実施する。

## (4) 技術の普及

- ・ 水管理システムの導入を支援する。
- ・ スマート農業の普及に必要な通信ネットワーク（ローカル5G、LPWA、RTK-GNSS）等の整備を支援する。

**(5) 新技術の研究**

- ・ 人工衛星等による空撮画像を活用し、広範囲の水田について、ほ場毎の生育や食味を解析するシステムを開発する。
- ・ A I 技術を活用し、カキやモモの選果時の果実画像から日持ち性などに優れる果実の判別を可能とする画像装置を開発する。
- ・ 本県のオンリーワン品目である「フランネルフラワー」について、A I 技術を活用し栽培管理や温度や湿度、日射等の環境情報から出荷時期を予測するシステムや開花を調整する栽培技術を開発する。

**(6) 農業DXプラットフォームの構築**

- ・ 農業生産、流通、販売に携わる事業者等や関係機関が連携し、農業に関する様々なビッグデータを結びつけ、有益なデータとして活用できるプラットフォームの構築を進める。
- ・ 農業関係者等からなる「農業DXプラットフォーム構築検討会」を設置し、プラットフォームの構築に向けた検討を行う。
- ・ I C T 技術を用いて熟練農業者が持つ「匠の技」をデータ化し、新規就農者等の担い手への技術継承を促進する。
- ・ 農業DXを推進するため、農業DX指導者研修を受講した「農業DX指導者」を配置する。



5. 営農類型毎のスマート農業技術の記載方法の見直し

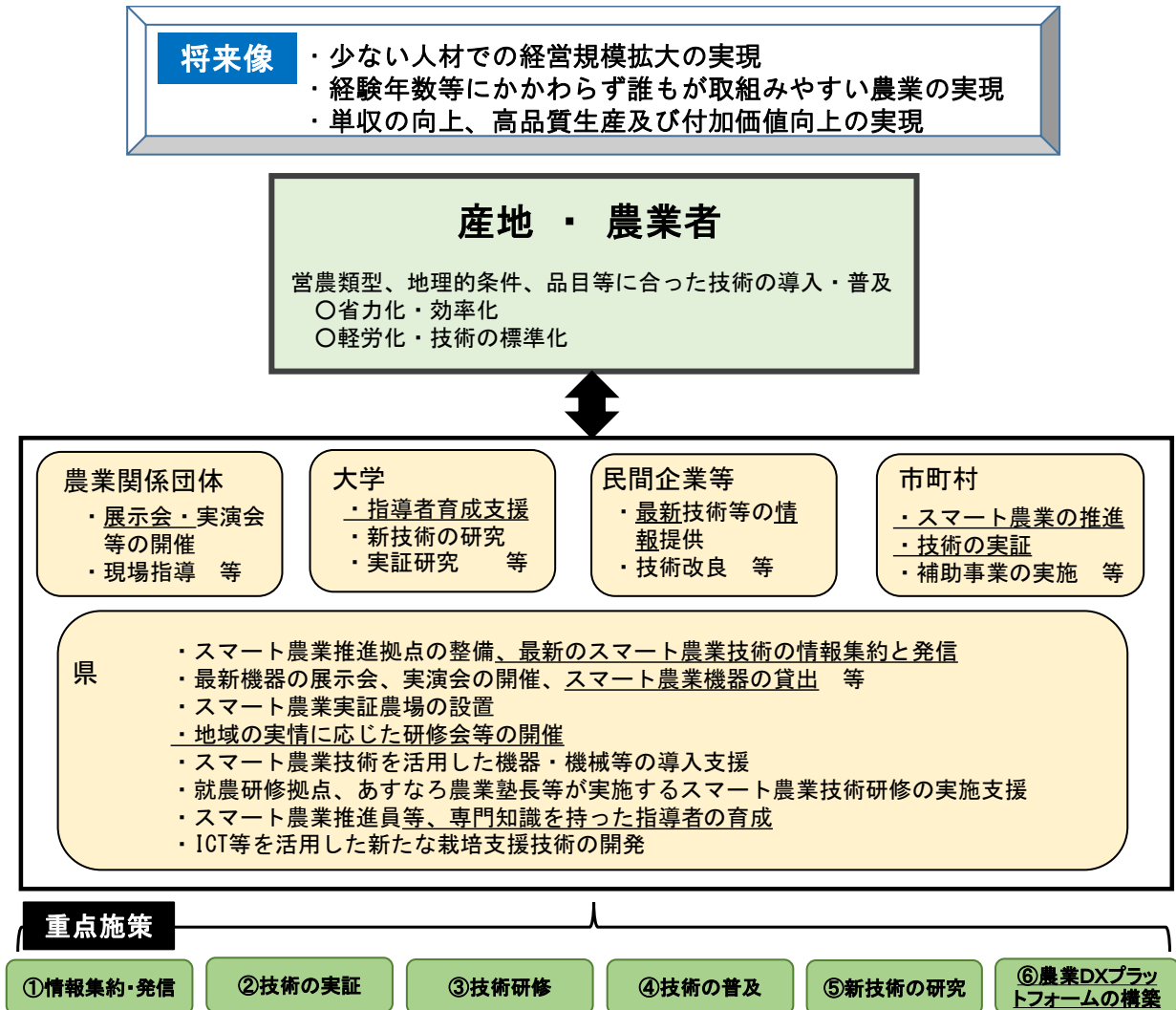
現計画	現場のニーズ 農業者の意見	作業 工程	現在実用化（開発中）されている技術 ・導入効果
	・除草作業に係る労力を軽減したい。	畦畔除草	<p>●除草ロボット</p> <p>&lt;技術&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水田区画の周囲や大型畦畔（土手）を自律自走又はリモコンで除草作業を行う除草機械。</li> </ul> <p>&lt;導入効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除草作業に要する労力軽減や作業事故の削減が期待できる。</li> </ul>

記載方法見直し

見直し 後	技術名	技術概要及び導入効果
	リモコン草刈機	<p>(技術概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急傾斜地や人が入りにくい耕作放棄地等での除草作業をリモコンによる遠隔操作で実施することができる。</li> </ul> <p>(導入効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険な場所での除草作業も安全に実施することが可能になる。</li> <li>・軽量コンパクトで、軽トラックで運搬可能な製品が多い。</li> <li>・除草作業にかかる時間を大幅に低減することが可能になる。</li> </ul>



9. 役割分担



※下線部見直し箇所